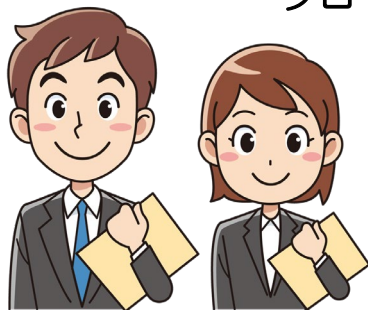


ネクストプログラム グローバル人材育成プログラム（英語コース）

修了認定チェックリスト(令和4(2022)年度入学者から
令和7（2025）年度入学者まで）



まずは「グローバル人材育成プログラム履修細則」を手元に用意してください。

履修細則は「ネクストプログラム履修の手引」（香川大学のHP（ホーム）＞教育研究・産学官連携＞教育）を参照）に掲載されています。

チェック項目	チェック内容	チェック欄
項目①	全学共通科目外国語科目の下記科目（10単位）を修得出来てますか？ ☐ ・「Communicative English I」（2単位） ☐ ・「Communicative English II」（2単位） ☐ ・「Intensive English I」（2単位） *1 ☐ ・「Intensive English II」（2単位） *1 ※上記4科目全て（8単位） ----- ☐ ・「English Writing」（1単位） *2 ☐ ・「English Speaking」（1単位） *2 ☐ ・「Academic English I」（1単位） ☐ ・「Academic English II」（1単位） ※上記4科目のうち2科目（2単位）	☐
項目②	グローバル人材育成プログラム履修細則の別表1（英語コース）の表に記載されている「教育学部」、「法学部」、「経済学部」の開設科目の中から 8単位以上を修得 できてますか？	☐
項目③	留学先の大学で修得した授業科目が「留学特別科目」として8単位以上認定されていますか？ ※「留学特別科目」とは、海外の大学において修得した授業科目のうちGEプログラムに関連すると認められる授業科目のことです。	☐
項目④	①から③までの修得単位数が 26単位以上 ありますか？	☐
項目⑤	所属学部を卒業できなければプログラムを修了できません。 所属学部を卒業するための必要単位を修得していますか？	☐

***1** 科目変更に伴い、令和8(2026)年度以降にプログラムに参加した学生は、「Intensive English I・II」（合計4単位）の代わりに「English for Overseas Programs I～III」（合計4単位）を修得してください。

***2** 科目名称変更に伴い「English Speaking & Writing I」は「English Writing」に、「English Speaking & Writing II」は「English Speaking」に読み替えます。

上記のチェック項目①から⑤までの全てのチェック欄にチェック（☒）が入ればネクストプログラムグローバル人材育成プログラム（英語コース）の修了です！

チェック欄（☐）に☒を入れてください



△項目②の「学部開設科目」の履修について

他学部の学部開設科目を、全学共通科目・高度教養教育科目として単位修得した場合でも、当該科目を学部開設科目として単位修得したものとみなして、修了要件に算入できます。

ネクストプログラム グローバル人材育成プログラム（英語コース） 修了認定チェックリスト(令和8(2026)年度入学者から)



まずは「グローバル人材育成プログラム履修細則」を手元に用意してください。
履修細則は「ネクストプログラム履修の手引」（香川大学のHP（ホーム）＞教育研究・産学官連携＞教育）を参照）に掲載されています。

チェック項目	チェック内容	チェック欄
項目①	全学共通科目外国語科目の下記科目（10単位）を修得出来てますか？ ☐ ・「Communicative English I」 （2単位） ☐ ・「Communicative English II」 （2単位） ☐ ・「English for Overseas Programs I」 （1単位） ☐ ・「English for Overseas Programs II」 （2単位） ☐ ・「English for Overseas Programs III」 （1単位） ※上記5科目全て（8単位） ☐ ・「English Speaking & Writing I」 （1単位） ☐ ・「English Speaking & Writing II」 （1単位） ☐ ・「Academic English I」 （1単位） ☐ ・「Academic English II」 （1単位） ※上記4科目のうち2科目（2単位）	☐
項目②	グローバル人材育成プログラム履修細則の別表1（英語コース）の表に記載されている「教育学部」、「法学部」、「経済学部」の開設科目の中から 8単位以上を修得 できてますか？	☐
項目③	留学先の大学で修得した授業科目が「留学特別科目」として8単位以上認定されていますか？ ※「留学特別科目」とは、海外の大学において修得した授業科目のうちGEプログラムに関連すると認められる授業科目のことです。	☐
項目④	①から③までの修得単位数が 26単位以上 ありますか？	☐
項目⑤	所属学部を卒業できなければプログラムを修了できません。 所属学部を卒業するための必要単位を修得していますか？	☐

チェック欄（☐）に☒を入れてください

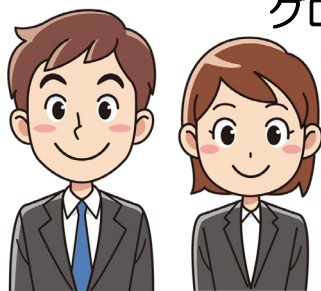
上記のチェック項目①から⑤までの全てのチェック欄にチェック（☒）が入ればネクストプログラムグローバル人材育成プログラム（英語コース）の修了です！



△項目②の「学部開設科目」の履修について

他学部の学部開設科目を、全学共通科目・高度教養教育科目として単位修得した場合でも、当該科目を学部開設科目として単位修得したものとみなして、修了要件に算入できます。

ネクストプログラム
グローバル人材育成プログラム（中国語コース）
修了認定チェックリスト(令和5(2023)年度以降入学者)



まずは「グローバル人材育成プログラム履修細則」を手元に用意してください。
履修細則は「ネクストプログラム履修の手引」（香川大学のHP（ホーム）＞教育研究・産学官連携＞教育）を参照）に掲載されています。

チェック項目	チェック内容	チェック欄
項目①	全学共通科目外国語科目の下記必修科目（9単位）を 全て修得 出来てますか？ ☐ ・「中国語Ⅰ」（2単位） ☐ ・「中国語速修Ⅰ」（1単位） ☐ ・「中国語速修Ⅱ」（2単位） ☐ ・「中国語速修Ⅲ」（1単位） ☐ ・「中国語応用演習Ⅰ」（1単位） ☐ ・「中国語応用演習Ⅱ」（1単位） ☐ ・「中国語応用演習Ⅲ」（1単位）	☐
項目②	グローバル人材育成プログラム履修細則の別表2（中国語コース）の表に記載されている「教育学部」、「法学部」、「経済学部」の開設科目の中から 9単位以上を修得 できてますか？	☐
項目③	留学先の大学で修得した授業科目が「 留学特別科目 」として 8単位以上認定 されていますか？ ※「留学特別科目」とは、海外の大学において修得した授業科目のうちGEプログラムに関連すると認められる授業科目のことです。	☐
項目④	①から③までの修得単位数が 26単位以上 ありますか？	☐
項目⑤	所属学部を卒業できなければプログラムを修了できません。 所属学部を卒業 するための必要単位を修得していますか？	☐

チェック欄（☐）に☒を入れてください

上記のチェック項目①から⑤までの全てのチェック欄にチェックが入ればネクストプログラムグローバル人材育成プログラム（中国語コース）の修了です！



△項目②の「学部開設科目」の履修について

他学部の学部開設科目を、全学共通科目・高度教養教育科目として単位修得した場合でも、当該科目を学部開設科目として単位修得したものとみなして、修了要件に算入できます。

ネクストプログラム グローバル人材育成プログラム（韓国語コース） 修了認定チェックリスト



まずは「グローバル人材育成プログラム履修細則」を手元に用意してください。
履修細則は「ネクストプログラム履修の手引」（香川大学のHP（ホーム）教育研究・産学官連携＞教育）を参照に掲載されています。

チェック項目	チェック内容	チェック欄
項目①	全学共通科目外国語科目の下記の科目の中から（6単位）を修得出来てますか？ ☐ ・「韓国語Ⅰ」（2単位） ☐ ・「韓国語Ⅱ」（2単位） ☐ ・「韓国語Ⅲa」（1単位）※選択必修 ☐ ・「韓国語Ⅲb」（1単位）※選択必修 ☐ ・「韓国語会話Ⅲ」（1単位）※選択必修 ※3科目のうち2科目（2単位）を必ず修得	☐
項目②	全学共通科目外国語科目の下記選択科目の中から4単位以上を修得出来てますか？ ☐ ・「韓国語TOPIK対策Ⅰ」（1単位） ☐ ・「韓国語TOPIK対策Ⅱ」（1単位） ☐ ・「韓国語TOPIK対策Ⅲ」（1単位） ☐ ・「韓国語TOPIK対策Ⅳ」（1単位） ☐ ・「Communicative EnglishⅠ」（2単位）※選択必修 ☐ ・「Communicative EnglishⅡ」（2単位）※選択必修 ※2科目のうち1科目（2単位）を必ず修得	☐
項目③	グローバル人材育成プログラム履修細則の別表3（韓国語コース）の表に記載されている「教育学部」、「法学部」、「経済学部」、「創造工学部」、「農学部」の開設科目の中から8単位以上を修得できてますか？	☐
項目④	留学先の大学で修得した授業科目が「留学特別科目」として8単位以上認定（留学期間が半年の場合は4単位以上）されていますか？ ※「留学特別科目」とは、海外の大学において修得した授業科目のうちGEプログラムに関連すると認められる授業科目のことです。	☐
項目⑤	①～④の修得単位数が26単位以上（留学期間が半年の場合は22単位以上）ありますか？	☐
項目⑥	所属学部を卒業できなければプログラムを修了できません。 所属学部を卒業するための必要単位を修得していますか？	☐

チェック欄（☐）に☒を入れてください

上記のチェック項目①から⑥までの全てのチェック欄にチェックが入ればネクストプログラムグローバル人材育成プログラム（韓国語コース）の修了です！

△項目③の「学部開設科目」の履修について

他学部の学部開設科目を、全学共通科目・高度教養教育科目として単位修得した場合でも、当該科目を学部開設科目として単位修得したものとみなして、修了要件に算入できます。



グローバル人材育成プログラム 法学部・経済学部卒業要件と特例措置について



(法学部・経済学部の卒業要件)

全学共通科目	既修外国語	6又は4単位	10単位以上
外国語科目	初修外国語	1種類4又は6単位	

法学部・経済学部の卒業要件として、全学共通科目の外国語科目については、既修外国語（英語）と初修外国語（英語以外の外国語1種類）を

“**既修外国語6単位＋初修外国語4単位**”または“**既修外国語4単位＋初修外国語6単位**”のどちらかの組み合わせで修得しなければなりません。

★(法学部・経済学部の特例措置)

全学共通科目の外国語は、通常、初修外国語6単位と既修外国語4単位の組み合わせか、初修外国語4単位と既修外国語6単位の組み合わせで10単位必要ですが、本プログラムに参加する場合は、英語コースは既修外国語（英語）10単位のみ、中国語コースは2022年度以前の入学者は初修外国語（中国語）10単位のみ、2023年度以降の入学者は初修外国語（中国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位で卒業単位と認定されます。また、韓国語コースは、ネクストプログラム専用科目「韓国語TOPIK対策Ⅰ」「韓国語TOPIK対策Ⅱ」「韓国語TOPIK対策Ⅲ」「韓国語TOPIK対策Ⅳ」（各1単位）を、2単位まで既修外国語（英語）の卒業要件単位に充てることができますので、初修外国語（韓国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位で卒業単位と認定されます。

ただし、本プログラムの履修を途中で取り止めた場合や、修了認定されなかった場合、この特例措置は適用されません。

※特例措置の対象科目には卒業要件外となる科目が含まれるため、グローバル人材育成プログラム履修細則の別表で各コースの対象となる授業科目を確認してください。

ただし、グローバル人材育成プログラムの修了者に適用される特例措置を使うと、

◆英語コースについては、**既修外国語（英語）10単位**だけで卒業要件と認定されます。

◆中国語コースについては、2022年度以前の入学者は**初修外国語（中国語）10単位**だけで卒業要件と認定されますが、2023年度以降の入学者は、**初修外国語（中国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位**で卒業単位と認定されます。

よって、**中国語コースの2023年度以降の入学者は、中国語8単位に加えて、既修外国語（英語）を2単位修得**しなければ卒業要件の認定が受けられませんので、ご注意願います！

◆韓国語コースについては、プログラム参加者のみ履修できる専用科目「韓国語TOPIK対策Ⅰ」「韓国語TOPIK対策Ⅱ」「韓国語TOPIK対策Ⅲ」「韓国語TOPIK対策Ⅳ」（各1単位）を、2単位まで既修外国語（英語）の卒業要件単位に充てることができますので、**初修外国語（韓国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位**で卒業単位と認定されます。

なお、授業の履修による単位修得以外にも、**各種試験結果による単位認定**を受けることもできますので、該当者は**申請期間中に必要な手続きを取ってください**。

◆英語の単位の認定を受けることができる各種試験（平成30（2018）年度以降入学者の場合）

- ・TOEIC L&R：600点以上
- ・TOEFL：PBT 500点以上、iBT 61点以上
- ・英検：準1級以上
- ・IELTS 5.5以上

問い合わせ先：

- 卒業要件・特例措置に関することについて→所属学部の学務係
- 各種試験結果による単位認定について→教育・学生支援部 修学支援課



ネクストプログラムの履修を中止する時は．．



「ネクストプログラム履修中止申請書」を提出期間
(前期：8/3～9/15、後期：2/1～3/15) 内に修
学支援課に提出してください。
申請書の用紙は修学支援課にあります。

★注意★「特例措置」が受けられなくなります！
(法学部・経済学部のみ)

★（法学部・経済学部の特例措置）

全学共通科目の外国語は、通常、初修外国語6単位と既修外国語4単位の組み合わせか、初修外国語4単位と既修外国語6単位の組み合わせで10単位必要ですが、本プログラムに参加する場合は、英語コースは既修外国語（英語）10単位のみ、中国語コースは2022年度以前の入学者は初修外国語（中国語）10単位のみ、2023年度以降の入学者は初修外国語（中国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位で卒業単位と認定されます。また、韓国語コースは、ネクストプログラム専用科目「韓国語TOPIK対策Ⅰ」「韓国語TOPIK対策Ⅱ」「韓国語TOPIK対策Ⅲ」「韓国語TOPIK対策Ⅳ」（各1単位）を、2単位まで既修外国語（英語）の卒業要件単位に充てることができるので、初修外国語（韓国語）8単位と既修外国語（英語）2単位の合計10単位で卒業単位と認定されます。

ただし、本プログラムの履修を途中で取り止めた場合や、修了認定されなかった場合、この特例措置は適用されません。

ネクストプログラムの履修を途中で取りやめたりプログラムを修了できなかった場合は、特例措置を受けられなくなります。

英語コースについては初修外国語（中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語）、中国語コースと韓国語コースについては既修外国語（英語）を改めて履修し、単位を修得する必要がありますので、御注意ください。

なお、改めて履修するためには手続きが必要です。

手続きの方法については、Moodleの掲示板に掲載されますので、必ず確認してください。



問い合わせ先：教育・学生支援部 修学支援課
幸町北キャンパス 大学会館2階
☎（087）－832－1365